

上智の座 シリーズ 第3回

上智学院に在籍する全ての教員と職員のために、様々な分野で活躍されている先生方をお招きし、お話を伺う会を開催します。

ヨハネ・パウロ二世 世界を変えた教皇



1981年2月25日 上智大学来校の折のヨハネ・パウロ二世

1981年5月13日、ヨハネ・パウロ二世は、バチカンの聖ペトロ広場で凶弾に倒れた。銃弾は腹部を貫通し、教皇は重傷を負ったが、一命をとりとめた。この事件は、1978年10月16日、ヨハネ・パウロ二世がカトリック教会の第264代目の教皇に選出されたその日から、1989年、ベルリンの壁が崩壊し、冷戦が終結する日に通じる一本の線上で起きた出来事である。

「恐れてはならない。キリストに扉を開きなさい。世界を大きく変えるのです。」就任後間もなく口にされた教皇のこの予言的言葉は10年後に現実となった。しかしそのためには教皇がいのちを危険にさらすという犠牲が要求された。

その後も教皇は「恐れてはならない」と繰り返しながら、2005年4月2日、84歳でこの世を去る日まで力の限りを尽くして世界平和のために働き続けられた。

(2011年5月1日、カトリック教会はヨハネ・パウロ二世を福者と宣言する。)

2011
5 | 13 金 17:30 ~ 18:30

講演終了後 茶話会 入場無料 申し込み不要

上智大学カトリックセンター内 多目的室 2号館1階



Sr. 石野 滯子

聖パウロ女子修道会会員。
1931年東京に生まれる。
ローマ、プロ・テオ国際大学
社会学部卒業。
グレゴリアン大学コミュニ
ケーション科卒業。
1966年~1986年バチカン
放送局日本語課勤務。

主催：上智大学カトリックセンター
問合せ先：03-3238-4161